

第24号

細郷地域コミュニティ推進協議会
〈細河〉

NPO法人 細河みどりの郷

〒563-0013 大阪府池田市市川原町216-2

TEL/FAX 072-754-5711

E-mail:homs@iris.eonet.ne.jp

URL <http://hosokawa-midorinosato.com>

細河地域 コミュニティ ニュース

事業の紹介

福祉事業



配食センター



調理



配膳



弁当



声かけ宅配



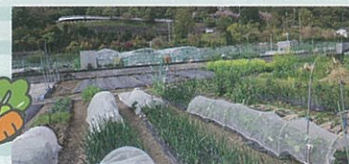
観光事業



細河フェア



大根の収穫



市民農園



果樹園



野菜販売



ハイキング道

住宅・環境事業



街路灯維持



新ビオトープ



里山整備作業



里山間伐作業



椎茸栽培作業



椎茸栽培

教育事業



コミュニティ道路



花いっぱい



スイミング



いもほり大会



アイススケート

広報事業



ホームページ



広報誌22号

広報誌23号



編集作業



ハイキング道マップ



自立掲示板

総務事業



事務所・案内所管理運営



通常総会



会計監査会



アドプト余野川管理



グランドゴルフ場管理運営



森林山村保全作業

市制80周年記念行事 ほそかわエアミュージアム ～創造遊空間～



日時

令和元年 **11月9日(土)～16日(土)**
11時～17時 (最終日は16時終了)

場所

細河地域全域
(公共的施設・公園・寺・神社・個人所有地等)

テーマ

「人間と植物」

イベント主旨・内容

細河地域とアートをコラボレーションし、細河地域全体がひとつのミュージアムとなり、地域はもとより市内外から多くの人びとにこの空間を回遊し、楽しんで頂く

- アーティストにより地元の植木・草花と住民からの不要農機具・古道具等をコラボレーションしアート作品にして、地域各所に展示
- 親子によるアート創り
小学生生徒により陶板製作し、地域各所に展示
- 細河見本庭園(東山町)をアーティストとコラボレーションしリニューアル
- 飲食店ブース・地場野菜と地場産品(お土産)の販売を各所にて

主催：細河活性化イベント実行委員会 後援：池田市・池田市教育委員会、いけだ市民文化振興財団
協力：人間展協会

第十二回 通常総会の開催

細郷地域コミュニティ推進協議会(細河)、第十二回(平成三十一年)通常総会が令和元年五月十二日(日)細河コミュニティセンターに於いて開催されました。

協議会会員・賛助会会員・地域各種団体・市関係職員、合計出席者五十八名(委任状十八名を含む)により開催されました。

左記議案について、審議され可決承認されました。

議案

- 一、平成三十年年度事業実施報告
- 一、平成三十年度会計報告並びに会計監査報告
- 一、平成三十一年度事業計画並びに予算
- 一、新役員の承認
- 一、その他



各地域の協議会会員(四十八名)

● バードヒルズ地域

- ・濱田和利・安本三代子・高階早苗

● 梅の木地域

- ・巽 博一・小畑幸代

● 伏尾地域

- ・中西史三・篠崎純士・福西由之

- ・井上勇人・岡本隆寿

● 吉田地域

- ・柏木 博・山本浩巳・山庄司亮滋

- ・森 新二・藪内聖子

● 東山地域

- ・中尾好美・高田ハナ子・渡辺辰也

- ・法貴啓子・吉野圭一

- ・小坂篤嗣・吉野雅裕・横尾裕子



● 中川原地域

- ・西野佳彦・藪内勝美・田中壮介

● 北古江地域

- ・谷端 隆・西村 章・橋本 肇

- ・谷端健二

● 古江地域

- ・吉岡加津子・今仲貞雄・吉岡博充

● 南鼓ヶ丘地域

- ・金子昌義・中村昌弘

● 木部地域

- ・秦 孝雄・氷室芳宏・岡本裕司

- ・山野剛志・渡辺由佳

● 新宅地域

- ・中森正也

● 地域外

- ・溝口正孝・西留清信・木崎 裕

- ・西原祐一・蔵前幸子・秦 安実

- ・岸本良子



平成30年度事業決算

決算総額 **10,625,000円**

事業名	決算額	概要
コミュニティ道路整備事業	569,000円	伏尾台コミュニティとの交流を図る為、山道清掃及び防犯街路灯(5灯)を設置。
ほそごう地域花いっぱい運動事業	25,000円	ほそごう学園と伏尾台コミュニティとの協働にて細郷地域内各施設に草花を育て配布する。
細河地域こども会育成事業	300,000円	地域子供会と協働で子供のふれあいの場(プール・いもほり大会・スケート)を推進し地域子供会の育成を図る。
グランドゴルフ場管理運営事業	110,000円	地域活性化とコミュニティ意識高揚を図る為、グランドゴルフ場を運営管理する。
ビオトープ新規開発	340,000円	ビオトープ等を新しく開発移設し、虫が乱舞するなど里山としての環境維持管理をする。
里山環境管理	930,000円	放置されている森林・竹林など伐採整備し炭焼き・椎茸栽培など二次的な事業を行う。
街路灯維持管理事業	35,000円	私有地に設置した街路灯(5灯)の維持管理をする。
細河観光推進事業(細河フェア)	200,000円	自然環境や地場産業を活用し、細河PRイベント「細河フェア」を行う。
市民農園事業	350,000円	遊休地を利用して野菜・果樹園として貸出を行う。
地場野菜等販売運営事業	453,000円	地場野菜販売、みどりの郷案内所イベント広場にて行う。
ハイキング道整備事業	50,000円	五月山日の丸展望台へのハイキング道2ルート(中川原ルート・木部ルート)整備事業
細河まつり支援事業	150,000円	コミュニティ意識の高揚を図るため地域住民が運営を行う事業を支援する。
高齢者等配食サービス事業	2,500,000円	手作り弁当を宅配し同時に声かけ、見守りを行い高齢者の社会参加を促す。延べ103名/7196食
地域コミュニティ誌発行事業	355,000円	推進協議会の活動内容を地域住民にPRする為、地域全戸に配布22・23号 4,400部印刷 4,100部配布
細河ホームページ維持管理事業	219,000円	細河地域コミュニティ事業を市内・国内外に発信する。
ハイキング道マップ印刷	63,000円	1,000部再印刷する。
自立掲示板設置	240,000円	旧細河小学校前に1基設置
森林山村保全事業	244,000円	国の推進事業 森林の間伐を実施し、里山の保全を行う
細河みどりの郷案内所運営事業	3,492,000円	協議会事務所運営・観光案内所運営・施設管理・事業推進・研修費・事務全般
合計	10,625,000円	

※ 決算総額はNPO負担金・国庫補助金も含まれています。

平成31年度事業予算

総予算額 **10,200,000円**

事業名	予算額	概要
教育事業	899,000円	コミュニティ道路整備と維持管理・こども育成・ほそごう地域花いっぱいプロジェクト
住宅環境事業	1,022,000円	里山環境管理(ビオトープ・炭焼き・椎茸栽培含む)・街路灯管理
地域観光事業	1,153,000円	観光イベント(細河フェア)・農園果樹園運営・五月山ハイキング道整備管理・細河まつり支援・地場野菜販売
福祉事業	3,250,000円	高齢者等弁当声かけ宅配サービス(6,300食予定)
広報事業	866,000円	広報誌作成24号25号発行・HP維持管理・掲示板新設1基(伏尾町)
総務事業	3,010,000円	協議会・細河みどりの郷案内所運営管理・グランドゴルフ場維持管理・余野川親水公園整備事業・森林山村保全
合計	10,200,000円	

※総予算額にはNPO負担金も含まれます。

大阪で一番！「世界に誇れる安全で安心なまち池田」をめざして！！

防犯・防災

細河地域 犯罪・災害発生状況 H31/1/1 ~ 4/30 (H30/1/1~12/31)	
犯罪	災害
●空き巣・侵入 0件(0件)	●交通事故(人身) 13件(29件)
●バイク・自転車盗難 0件(3件)	●火災 2件(4件)
●自動車盗難 0件(0件)	●水害 0件(0件)
●車上ねらい 0件(2件)	●地震 0件(1件)
●自動車部品ねらい 0件(0件)	●台風(大型) 0件(2件)
●ひったくり 0件(0件)	
●置き引き 2件(6件) (事務所2件 店荒らし2件 置き引き2件)	



ええトコ 特別養護老人ホーム 古江台ホール

古江台ホールにカフェテリア「リーテン・リュカ」が誕生！！

社会福祉法人のぞみは、昨年5月から新たにカフェ「リーテン・リュカ」をオープンさせました。スウェーデン語で「小さな幸せ」という言葉に、日々のささやかな安らぎを提供したいという思いを込めました。

注文を受けてから1杯ずつ豆を挽いてドリップする本格コーヒーが人気です。

- 施設名 社会福祉法人 のぞみ
- 所在地 〒563-0015 池田市古江町18番地の2
- 事業内容 特別養護老人ホーム
- 理事長 下芝 初美

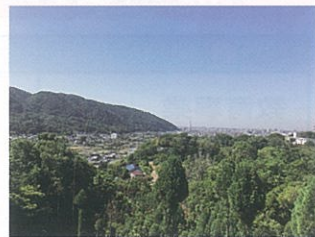
案内図



↑ 世代を超えたお茶のみ友達



↑ 古江台ホール正面玄関



↑ 古江台ホールからの眺望



↑ おいしいコーヒ・ケーキ



↑ おいしいカレーライス



↑ 子供から高齢者まで集まる

細河歴史・文化遺産

細河歴史街道

町名の由来「古江町」

水害の歴史

余野川（久安寺川）が猪名川に合流し、両河川に囲まれたほぼ三角形の地域の古江町。特に、猪名川が能勢、川西の山間部で深い渓谷をつくり、池田市に入ってから急に流れが穏やかになります。その為、かつて北摂一帯で大雨が降り、猪名川が増水すると、余野川の合流もあり、真つ先に洪水の被害を受けたのがこの古江町の田畑でした。明治二十九年（一八九六）八月三十日から三十一日にかけての関西地方の暴風雨（台風）は、豊能郡一帯にも大きな被害をもたらしました。この時の模様と水害の惨禍を忘れず、復興を願って、「水害記念碑」が猪名川のほとり、池田市と川西市の境界に立っています。また古江橋のそば、浄水場の向かい側には、昭和六年（一九三一）に建てられた高さ三メートルもある「橋本久太郎翁之碑」があります。裏面の碑文を見ると、明治二十九年の洪水で、ここにあった橋本家の家屋が流出した事も記されています。

昭和十三年七月の集中豪雨でも、古江町から木部町新宅にかけて浸水し大きな被害がありました。そのため、古江の集落は川から離れた丘陵寄り

如来寺



摂州細川庄大絵図



摂津国絵図



大きな街道



町の境界付近



江の船着場付近



古江は入り江から

長久三年（一〇四二）の年号の入った「摂州細川庄大絵図」を見ると、古江の名前があり、家が描かれています。既に平安時代から古江があったことが分かります。「ふるえ」と呼ばれていたようです。慶長十年（一六〇五）の「摂津国絵図」は、摂津国の各村々が出てくる大きな国絵図です。そして、郡ごとに色分けした村名が楕円で囲まれています。古江村の所を見ると、「古家村」と書かれています。しかし、これは「ふるえ」と読んでいたのを当て字で書いたと思われるのです。そして、大き

な街道が村を通り、すぐ北に横山村があり、平野村と多田院へと続いています。興味深いことには、横山村の左半分は川辺郡の色、右半分は豊島郡の色になっています。現在の池田市と川西市の境界の所にあった村のようです。「猪名湊の北部、鼓ヶ滝の手前の細河郷古江は、その地名から推して古くからの江（船着場）であったと思われる」坂上太三著「猪名川のことごとく」の中の文節です。江は「川、海、湖水等の陸地に入り込める所」（『字源』簡野道明著）と説明しています。猪名川は、かつては今よりもっと水量が多く、海岸線が入り組み、池田・多田地方まで猪名川の通航が容易だったようです。そのため、江戸時代には通船願が度々出されていましたが、池田の馬借の反対で実現されませんでした。



猪名川との合流点



穏やかな猪名川



水害記念碑



橋本久太郎翁の碑



古江集落



無二寺



案内地図